

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北信流お肴謡地域伝承普及事業
事業主体 (連絡先)	おぶせ能実行委員会 委員長 内山英行
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,400,000円 (うち支援金: 2,260,000円)

事業内容

能舞台の製作を地域住民と協働で進めました。
製作した舞台(所作台)を活用し、第2回「おぶせ能」公演を開催いたしました。

◎舞台(所作台)作り

- ・開催日 平成27年9月12日(土)、19日(土)
9月27日(日)、10月3日(土)

◎小道具作り

- ・開催日 平成27年10月25日(日)、27日(火)

◎伝統芸能の継承・普及(お肴謡教室)

- ・開催日 平成27年4月24日(金)
5月2日(土)、6月3日(水)
6月27日(土)、7月11日(土)
8月8日(土)、9日(日)、27日(木)
9月3日(木) 10月8日(木)
11月2日(月)、13日(金)

◎第2回「おぶせ能」公演

- ・開催日 平成27年11月15日(日)

◎能楽ワークショップ

- ・開催日 平成27年6月26日(金)
11月13日(金)



【所作台製作風景】

【目標・ねらい】

- ① 能舞台(所作台)の製作
- ② 伝統芸能の継承と普及

※自己評価【A】

【理由】

舞台(所作台)を地域住民と協働で製作したことにより、新たな地域おこしや、世代間交流の繋がりを深めることが出来た。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 元気づくり支援金を活用して、舞台(所作台)を製作し、「第2回おぶせ能」公演で使用できた。
- ② お肴謡教室、能楽ワークショップを開催し伝統芸能の継承、普及を進められた。
新たなメンバーの加入もあり、伝統芸能を通じて世代間交流の結びつきが深められた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も継続して「おぶせ能」公演の開催に向け、住民の方へ広報活動や情報発信を進めると共に、お肴謡を通して伝統芸能の承継、普及を進めていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある